



## 異常気象

ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会 会長 森田 弘  
田んぼに水が入り、少しするとカエルの合唱が始まります。その合唱に耳を澄まして聴いていると心が和む季節です。いつもですとそれから1か月ほど過ぎるとほたるの季節になります。

ところが、季節が早まり、ソメイヨシノや思川桜の開花が早まったのと同様、中小学校理科室のミニビオトープのほたるもいつもより早く飛び出しました。急遽5月1日「ミニほたる観る会」を開催し、児童・保護者・ほたるのボランティアが参加し大賑わいになりました。淡い光を放ったほたるに感動しました。その時まだ放流していなかったほたるの幼虫も水中で光っていたのです。早く上陸し、さなぎになって飛びだしたいと言っているようでした。児童も初めて見る幼虫の光に感激していました。その様な事はなかなか見られません、ほたるは一生光を放つ生き物です。とても良い機会になりました。

一方、校庭のビオトープは、去年ザリガニを駆除し、たくさんのほたるが飛び交うことを期待しています。「中地区ほたるを観る会」を6月8日に予定していますが、それ以前にほたるが飛んでしまうのではないかと心配です。

「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」も学校・地域・ボランティアとともに活動していますので今後とも協力をお願いします。

## 地域を愛し、誇りに思える子に育てほしい

小山市立中小学校長 市村栄美子

平成13年度から始まった「田んぼの学校」も今年で18年目を迎えます。予定した日はあいにくの雨天でしたが、大久保市長様、大出議員様、酒井教育長様、「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」の皆様より励ましのお言葉をいただき盛大に開校式を行うことができました。お忙しいところ足を運んでくださった皆様に心より感謝申し上げます。

おかげさまで、次の日は晴天となり、子供達は張り切って早苗を植えることができました。6年生は、1年生の手を取り、やさしく面倒を見ていました。終盤には、6年間で培った力を発揮し、あっという間に植えてしまいました。6年生の姿は、本当にたくましく、まぶしく見えました。

子どもたちは、地域の恵まれた自然環境を生かしながら、教室の中だけでは学ぶことのできないことを、体験を通して数多く学んでいます。また、稲作の機械化が進む現在、稲作文化の原風景を残しておくのは「田んぼの学校」の役目でもあるように思えます。

地域の豊かな自然と温かいまなざしのおかげで、本校の子どもたちは、様々な体験を積み重ね、地域の良さを感じる事ができています。今後も、豊富な地域資源を生かして、地域を愛し、将来地域に貢献できる子どもたちを育てていきたいと考えています。ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 豊作の願いを込めて

### ～ 中小学校田植え 5月11日 児童と地域の方と、一緒になって ～

中小学校の田植えは予定の10日が雨天のため、体育館で式典だけ実施し、翌日、好天の11日に行いました。まず、増田博利さんから早苗の植え方の説明があり、初体験の1年生には6年生が植え方を教えながら早苗を植えていきます。今年は2日掛かりでの田植えでしたが、両日に渡って児童数を上回るPTAやボランティアが支援され、田んぼ一面が緑の早苗でおおわれていきました。秋になったら稲穂が頭を垂れるような大豊作を期待しましょう。



### はじめてのたうえ 1ねん

わたしは、はじめてたんぼにはいってうれしかったです。どうしてかというとなえをじょうずにうえることができましたからです。6ねんせい、おしえてくれてありがとうございます。

### むずかしいけどたのしいな 2年

きょうみんなで田うえをしました。はじめは少しこわくてなかなか入れませんでした。でも5年生が手をつないでくれました。いねをうえるのがむずかしかったけど、だんだんうまくうえられてたのしくなりました。どろに足がはまってしまいました。

### おにぎりがまちきれない 3年

5月11日に田植えがありました。ドロに足を入れたらつめたくぬるぬるしました。どろになえをじょうずにうえられました。なえを20本い上うえました。えのきさいが楽しみでおにぎりが待ちきれないです。

### ALTさんも一緒に田植え

ヘンリー・ブルーナー  
今日は子どもたちがみんなで田植えをする姿に感動しました。アメリカの学校でも学校の年間行事として子どもたちに協働の機会があればいいなと思いました。コミュニテイとしてともに働いたり伝統を重んじることは日本を更に良いものにしていく原動力となると感じました。

### 五七五 ～じょうずにね なえをうえたよ うれしいな～

### 地いきの方のおかげ 4年

わたしが4回目の田植をして心にのこったことは、うまく植えられたことです。田植が出来たのは地いきの方やます田さんのおかげだと思います。らい年は2年生といっしょにやるので、植え方をやさしく、ていねいに教えてあげたいです。らい年はよい天気になるといいです。

### 五七五 ～ 田うえはね 大へんだけど たのしいな～

### えのき祭が楽しみ 5年

5月11日に、田植えをやりました。わたしは2年生とペアになってやりました。5回目の田植えだったのでなれていたけど、2年生が上手でおどろきました。地いきの方々のおかげで楽しい田植えができたのでしっかり感謝をしたいです。えのき祭の時、みんなで協力して植えたお米を食べるのが楽しみです。

### 楽しめた最後の田植え 6年

5月11日に田植えがありました。1年生とペアを組んでなえを植えました。1年生は、初めてだったのでやさしく植え方を教えることができました。わたしの最後の田植えは楽しみながらできたと思いました。えのき祭で食べるおにぎりが楽しみです。

### 五七五 ～ 田植えはね みんなの気持ちで いっぱいだ～

### 五七五 ～ 5回目の 田植えしっかり できたんだ～

### 五七五 ～ 最後のね 田植えはみんな 楽しめた～

# ミニほたるを観る会

～ 飼育の成果を全校生と保護者に公開 5月1日・5月18日 ～



去年、卒業生から引き継いで育ててきたほたるの幼虫が羽化しているのを発見しました。長きにわたる飼育の成果が報われたのです。その取り組みや成果の喜びを一年生から五年生と共有することになり、五月一日と五月一八日に「ミニほたるを観る会」を行いました。子どもと保護者・それに一般の人が入れ替わりながら、真つ暗な理科室を訪れています。中に入ると約一メートル四方の四つのビオトープが置かれています。さまざまな草やけが移植された小さな川が流れるミニ自然に、去年に放流した「子どもたちのほたるの幼虫」が見事に光りを放っていました。その数約五〇ほど、イルミネーションのようにたくさん光り点が滅していき、天井に舞う一筋の光りがまさに幻想的でした。多くの保護者や地域の人々も訪れ、子どもたちと一緒に幻想的なほたるの夕べを楽しんでいたできました。

## 大切なほたる 6年

私のグループはヘイケボタルを育てています。今までミニビオトープを作ったり、カワナを取ったりしてほたるを育ててきました。育てている間にじゅんかん機が止まったり、カワナがモヤモヤ病になったりして不安でした。しかし週3回でいねいに世話をして成虫になりました。本当によかったです。

**五七五**  
～ ホタルたち 優しい光を  
ありがとう ～

## 小さな光 6年

私は、5月1日に行われた「ミニほたるを観る会」に行きました。わずかでしたが、小さくきれいな光を放っていたホタルに感動しました。育てるのがとても大変で、何匹も死んでしまい悲しく不安な気持ちになったけれど、成虫になったと聞いたときは、くもっていた心が晴れやかになりました。これからもほたるのためにがんばっていきます。

**五七五**  
～ ビオトープ ホタルの光で  
いっぱいだ ～

## 自分たちが育てたホタル 6年

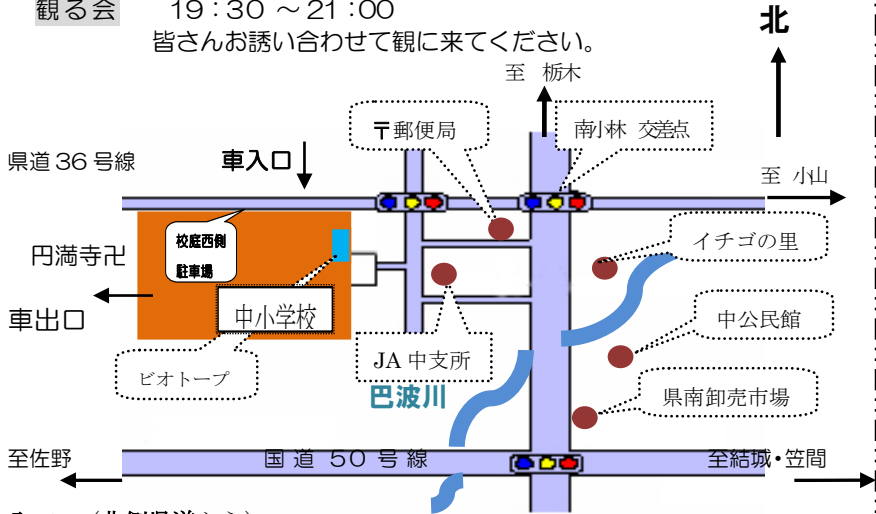
5月1日に「ミニほたるを観る会」がありました。学校に来るときはたくさん光っているか不安だったけれど、成虫や幼虫が数え切れないほど光っていました。あまり観に来ていない人がいず、「観ていない人はもったいないな。」と思いました。ミニビオトープでたくさん光っていたので「ほたるを観る会」では、もっと光るようにしたいです。

**五七五**  
～ これからも すくすく育て  
ホタルたち ～

# ほたるを観る会

## 「ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会」を支える方々

★ 6月8日(金) 式典 18:00～18:40 イベント 18:40～ 観る会 19:30～21:00  
☆ 6月9日(土) 観る会 19:30～21:00  
皆さんお誘い合わせて観に来てください。



**入口 (北側県道から)**  
・「ほたるを観る会」のため午後7時～9時の間はなるべく車の出入りはしないようご協力ください。  
・車は、西向き <ビオトープを背にして>駐車してください。  
【ほたるは、明るさを嫌います。】

**出口 (駐車場西側から)**  
夜店…前PTA役員・中地区育成会の方々の御協力により  
<かき氷・飲み物・焼きそば・稲荷寿司・おにぎり・からあげ・メンチと串カツのセット>



… お楽しみに !

会長 森田 弘  
副会長 ・宇賀 静男 ・酒寄 広子  
・大森 和義 ・市村栄美子

ボランティア <順不同>

- ・新井 幸男 ・小暮 米作 ・田波耕太郎 ・青木 新市 ・増田 博利
- ・神山 芳典 ・黒須 孝次 ・神山 宣久 ・神山 和男 ・熊倉 弘
- ・塩田 忠男 ・玉野 一雄 ・渡邊 敏雄 ・飯田 利美 ・福島 一美
- ・大出 政勝 ・相川 祐二 ・岸 保 ・小川 修一 ・岡本 榮二
- ・島田 精一 ・石川 浩司 ・荒川 英紀 ・玉野 辰夫 ・熊倉 悦雄
- ・青木 勝 ・大出 隆 ・須賀 昭夫 ・原 久 ・小川 典男
- ・坂井 清澄 ・島田 淳 ・白石 秀之 ・荒川 進 ・神山 秀夫
- ・渡邊 吉次 ・宇賀 正 ・齋藤 隆夫 ・須賀 敏夫 ・飯田 宣
- ・小川 高男 ・中見川喜七 ・久信田利一 ・高橋 進 ・猪股 正
- ・玉野 邦男 ・大森 久喜 ・湯本 幸宏 ・大出 悟 ・相川 茂
- ・岸 慶次 ・田中 正典 ・中見川 進 ・島田 和美 ・高橋 好弘
- ・小林 勝治 ・神山 尚俊 ・玉野 泰弘 ・速見 三郎 ・須賀 重光
- ・神山 秋広 ・松井 正弘 ・松本 和己 ・柄木 久雄 ・古口 忠男
- ・田中 房雄 ・大森 利男 ・松沼 由美 ・塩田 正典 ・安齋 早苗
- ・荒川 日和 ・齋藤 久美 ・五十畑典子 ・柏崎 奈美 ・玉野 恵
- ・須賀 竜也 ・須藤 佐織 ・奈良 郁絵

事務局 ・金子 弘隆 ・小林真理子

### ＝ 編集後記 ＝

「うずまのほたる」も第31号発行に至りました。6年生の2年間のミニビオトープ活動ご苦労さまでした。自分たちが育てたほたるが飛んでさぞ嬉しかったことでしょう。おめでとうございます。

—うずまのほたる— 広報班

神山 芳典・神山 宣久・田波耕太郎・岸 慶次・高橋 好弘  
柏崎 奈美・玉野 恵 ・金子 弘隆・小林真理子